

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広
報
誌

よりそう

vol. 35

迎春

医療法人
徳洲会の理念

“生命を安心して預けられる病院”
“健康と生活を守る病院”

徳洲会グループは
「生命だけは平等だ」の理念の下、
「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を
受けられる社会」を目指しています。

いつでも、どこでも、誰でもが、
最善の医療を受けられる社会を目指して



新年明けましておめでとうございます。
謹んで新春をお祝い申し上げます。

最先端医療と快適な環境で 地域に寄り添う「安心・安全な病院」を

医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 病院長

佐野 憲



昨年、仙台徳洲会病院は新しくなりました。テーマは「安心・安全な病院」です。病院で起こる医療事故をなくすことを目標にいたしました。医療事故は、患者さまのみならず、職員の心にも傷を残します。最新の医療機器も数多く導入し、設備や環境なども整備いたしました。例えば、薬局の自動で薬を取り出すロボットや病棟に配置されたスマートベッドシステムは職員の労力を軽減します。エレベーターも10基以上備え付けました。これにより患者さま及び職員の待ち時間を減らすことができます。広い廊下などにおける患者さまと職員の導線の分離は、患者さまの転倒を減らすことに役立ちます。また、セキュリティをより一層強化し、病棟への不審者侵入防止対策を徹底的に行っております。設計を途中で変更し、新型コロナウイルス感染症に対して、病棟自体が陰圧になる設備も整えました（陰圧室ではなく陰圧病棟）。

エントランスホールは自然採光をより大きく取り入れることで明るくなり、受付は幅広く見渡せるようになったことで、より安心・安全を提供できる空間となりました。病院内は患者さまが迷わず移動できるようユニバーサルデザインに配慮した建物となっており、壁や天井には大きなサインを使用しています。また診察時や会計時の呼び出しには番号と音声でご案内するシステムを採用し、プライバシーにも配慮しています。

入院患者さまが利用する病室は、全室が窓に面した作りとなっており、病棟の廊下には太陽の光が差し込む大きな窓を設置しました。最も重要なことは職員の行動ですので、心にとりを感じさせる明るい空間となった事で職員のストレス軽減にもつながっています。

今年も職員一同、力を合わせて地域の皆さんのために貢献していきます。



フロア案内

RF	ヘリポート	
9F	大会議室、事務室	
8F	シルバーホームいづみ（介護老人保健施設）	
7F	7 南病棟 701-721	7 北病棟 751-773
6F	6 南病棟 601-622	6 北病棟 651-672
5F	5 南病棟 501-522	5 北病棟 551-572
4F	4 南病棟 401-421	4 北病棟 451-473
3F	日帰り手術センター（DS室）、手術室、HCU、CAG室、高気圧酸素治療室	
2F	歯科口腔外科、眼科、耳鼻科、婦人科、リハビリテーション室、透析センター、 予防医学センター（人間ドック）、医局、会議室、調剤室	
1F	内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病代謝内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、 心臓血管外科、神経内科、皮膚科、小児科、救急外来、内視鏡室、検査室、放射線、薬局、 医事（受付・会計・入退院患者サポートセンター）、地域連携総合案内、医療福祉相談室、 訪問看護ステーションひなた、介護センター、臨床治験センター、防災センター、コンビニエンスストア	



診療科

- 内科
 - 循環器内科
 - 消化器内科
 - 呼吸器内科
 - 糖尿病・代謝内科
 - 神経内科
 - 外科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
- 心臓血管外科
 - 泌尿器科
 - 皮膚科
 - 歯科口腔外科
 - 婦人科
 - 放射線科
 - 麻酔科
 - 眼科
 - 救急科
- リハビリテーション科
 - 血管外科
 - 耳鼻咽喉科
 - 小児科
 - 総合診療科
 - 透析
 - 予防医学センター
 - アクセスケアセンター

手術支援ロボット da Vinci(ダヴィンチ)最新鋭機 Xi

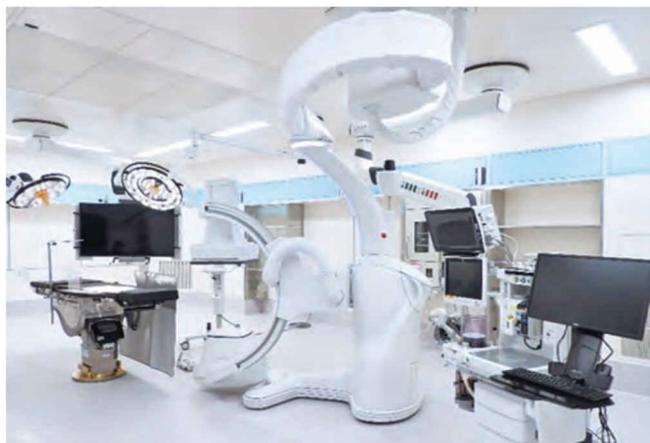
高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像のもと、人間の手の動きを正確に再現

現在、世界的に普及している手術支援ロボットであるダヴィンチの最新バージョンが「ダヴィンチXi」です。

数カ所の小さな切開部から手術を行うため、傷が小さく出血も抑えられ、患者様の負担が軽減されます。コンソールモニターには高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像が映し出され、医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作し、術者にかかるストレスが軽減され、より確実な手術を行えます。



ハイブリッド手術室用システム GE社製 Discovery IGS7



空間を有効活用し

効率的に手術ができる環境を作り出します

レーザーガイドによる「自走式Cアーム」というスタイルを持つシステムです。コンパクトに移動しスタッフへの干渉を最小限に且つ安全に動作させることができます。最新の技術により、低侵襲で高度なインターベンションを実現するために、より快適で安全な治療環境を提供します。

血管撮影装置 シーメンス社製 Artis zee BC PURE



さらなる画質の向上と被ばくの低減

スムーズなインターベンションをサポート

この機器はコンパクトに設計されており、多彩なポジショニングを可能にすることで術者のストレスを軽減します。また高画質、低被ばくに加え優れた操作性を兼ね備えた機器です。

全身用X線CT診断装置 Aquilion ONE / PRISM Edition



低被ばく・低侵襲で体にやさしいCT検査を

この装置は、瞬時に細かく320断面（スライス）が同時に撮影できる世界最高水準のマルチスライス技術を搭載しており、撮影時間の大幅な短縮が可能です。胸部疾患や腹部臓器（肝・胆・脾・腎・膀胱・その他）疾患の検査に絶大な効果が得られ、最薄0.5mmスライスの高精度な画像は、検査後の治療計画から治癒まで幅広くお役に立ていただけます。また低被ばく・低侵襲を実現し、安全面にも配慮された患者さまにやさしいCT装置となっております。

MRI装置 Philips社製 Ingenia 1.5T Evolution



より高速、より快適に患者さま中心の検査環境を提供します

新しいMRIは従来の機器に比べ高画質、高速撮影はもちろん患者さまが望む医療サービスの向上を図ります。患者さまに安心感を与えるガイダンス機能、寝台上的快適性の改善によって不安や苦痛といった検査中のストレスから解放し、一貫性の高い検査を可能にします。また高速化により限られた検査時間の中で確信度の高い画像診断を行うことができ、頭部、腹部、整形領域、心臓領域など幅広いニーズへの対応を実現します。

自動薬剤ピッキング装置 Drug Station



取り間違いなく、安全にピッキング業務が変わります！

処方箋の内容に基づく医薬品の取り揃え（ピッキング）業務を自動で行う自動薬剤ピッキング装置「Drug Station（ドラッグステーション）」です。払い出す薬品が目の前に出てくるため、その場で正確なピッキングが可能で、患者さまへより早く正確にお薬をお届けすることが可能となります。

スマートベッドシステム 眠りSCAN



安心とやさしさを、いちばん身近なベッドサイドから

ベッド上の患者さまの心拍数・呼吸数、睡眠・覚醒などの状態を独自のセンサーにより非装着で連続測定するほか、様々な生体情報を一元管理します。そしてその情報をリアルタイムでスタッフステーションへ通知し電子カルテに登録することができるシステムです。ベッドサイドのタブレットで患者さまの情報が確認でき、バイタル（呼吸・心拍・血圧など）の記録も容易となるため、これまでカルテ記載にかかった時間を短縮することで、より患者さまのそばにいたることができるようになります。



インフルエンザのおはなし

インフルエンザの季節が始まります。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが体内で増えて、熱やのどの痛みなどの症状を引き起こす感染症です。11月頃より発生し、1月下旬～2月にピークを迎えます。



症状

潜伏期間は1～4日(平均2日)突然の発熱(通常38.0°以上の高熱)、咽頭痛、筋肉痛、倦怠感などの全身症状を呈し、咳・鼻汁などの上気道炎症状が約1週間これに続き、約1週間の経過で軽快する。感冒に比べて全身状態が強いのが特徴です。

ウイルスは



- ・感染者の鼻咽腔より排出される。
- ・排出期間は症状出現前日から、発症後7日間程度
- ・最も感染力の強い時期は、発症初期の3日間



かかってしまったら

- ◎安静にして休養を取る。特に睡眠が重要です。
- ◎2次感染を防ぐため、不織布用マスクの着用をしましょう。
- ◎水分を十分に補給する。(お茶、ジュース、スープ類)
- ◎人混みの外出を控える。
- ◎抗インフルエンザ薬の投与



インフルエンザ検査法

インフルエンザの検査はどのように行われているかご存じでしょうか。

最近メディアの発達により、インフルエンザ流行時期には検査風景も映される事が多い為殆どの方はご存じかもしれませんが(^_^)! また、冬期に高熱が出た方も経験済みかもしれません…

鼻腔ぬぐい



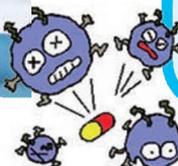
左の図のように鼻に綿棒を入れて鼻腔をぬぐい、検体とします。ちょっとだけ痛いかもしれませんが…一瞬で終わります(*_*)

患者様から採取した検体を簡易キットにて検査します。検査時間は10分です!!



予防法

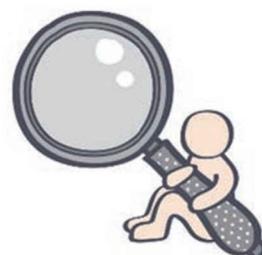
- ★ワクチン接種
- ★休息
- ★規則正しい食生活
- ★加湿・保温
- ★手洗い・うがい



「俯瞰でものを見る」という事

文：広報編集員

角度を変えると違うものが見えるトリックアートは御存じですか？それは現実の世界にもあると思います。いないと思って、ある人の話で盛り上がっていたら、実は近くにいたとか。別に聞かれてもいい話ならいいのですが、そうでなければ一瞬にして空気が悪くなります。それは、俯瞰でものを見ていないというか、ターミネーターやプレデターのように「空間スキャン」をしきれていないという事に他なりません。奥さんと待ち合わせをしても化粧していなかったら30cm手前まで気づかないのも、普段の奥さんの歩き方や仕草のスキャン不足、いわゆる「嫁スキャン」不足なのです。「壁に耳あり、障子に目あり」とはよく言ったもので、固有名詞を口から放ったとたん、悪口でなくても聞き方によってはどうしても受け取られかねません。なので、話す前に本当に口から放って大丈夫か「脳内スキャン」をする事が大切です。また、この人に話して大丈夫かの「人物スキャン」の確認が不十分だと、修学旅行の夜に寢床でつい好きな娘の名前をポロっとしゃべってしまって、次の日、クラス全員にバラされるという事態になってしまいます。



「聞かれた事以上に答える」「聞かれた事ではない事を答える」「聞かれていないのに話す」「オチの無い話が長い」なども、会話を分解し理解し、文章を脳内で整理して最善の答えを導き出す力が不足しているから起こる現象です。「起承転結」を俯瞰で見、組み立てる事ができると「最善な答えで最短な会話」をする事ができるそうです。難しそうな事を偉そうに綴っていますが、これは江戸川乱歩が、少年誌に作品を掲載する事になった際に最も気にかけてた事だそうで、結果、普段の生活においても、「気難しい頑固おやじから、きさくで話のわかるおじさん」とキャラ変に成功し、近所付き合いが楽になったとの事でした。

さて、長々と何を言いたいかと申しますと、当院では「看護部」「研修医対策」「広報」の3部門にてインスタグラムをはじめました。SNSは、不適切な文章や言葉や動画を配信してしまったらたちまち取り返しのつかない事になります。そういうニュース既にいくつもありますよね。投稿前に、「誰か傷つかないかな」とか「違うニュアンスで受け止められないかな」

などを見極めると共に、写真に個人情報が写り込んでいないかなど気を配らなければなりません。それらを見極める力を養うのが先に述べた、常日頃の「空間スキャン～俯瞰でものを見る」という事になるわけです。「朝は希望に起き、昼は努力に生き、夜は感謝に眠る」という言葉があります。謙虚さと感謝を持ち、適切なものを選択し的確に使う。そういった心持ちで発信できればと思っています。



当院ではMRIを用いた乳がん検診
「ドゥイブス・サーチ」を
はじめました。

SIGNA
Explorer

2/1より開始

午前8:00～午後4:00

予防医学センターで
ご予約を承ります。

安心・安全・痛くない
無痛MRI乳がん検診の特長



痛くない



見られない



被ばくがゼロ
だから安心

ご予約はWEBまたはTELにて受付

予防医学センター(直通)

☎ 022-771-5117



編集
後記

昨年は、新築移転や最新機器の導入などイレギュラーな事が多かった年でしたが、今年はその「種」を芽吹かせる年になります。

ご来院の方々よりお寄せ頂きましたご意見を反映し、安心・安全にお越しになれる病院にしていきたいと思います。

本年も、宜しくお願い致します。

地域連携室／千葉 英二

2023年(令和5年)1月発行
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 広報誌
編集・発行：地域連携室
発行責任者：院長 佐野 憲
印刷所：モリタ印刷株式会社



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8

TEL: 022-771-5111(代表) FAX: 022-771-5100

HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>



●休診日につきましてはホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。



この印刷物は、環境に
配慮した植物油インキを
使用しています。